

## 令和4年度 第3回赤佐小学校運営協議会 会議録（重点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月29日（火） 9時45分～11時45分
- 2 開催場所 赤佐小学校 会議室
- 3 出席委員 山内正隆、湖東秀隆、佐藤敏己、大石祥範、大城むつ子、文屋沙弥子  
石牧真志、内山真由美、野末智美、伊藤登紀子（学校支援CD）
- 4 欠席委員
- 5 オブザーバー 小杉幸次（中瀬協働センター）
- 6 学 校 松本孝久（校長）、工藤幸徳（教頭）、大村幸代（主幹）  
徳田 衛（CS担当）、鈴木晴代（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項  
(1) 赤佐小学校の特色ある教育活動について  
(2) さくらっ子応援団の編成について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木晴代
- 11 会議記録

教頭から、委員10人の出席が確認され、会議が成立している旨の報告があった。

### <会長あいさつ>

学習発表会での子供たちの姿を称賛する。1年生の成長ぶり、3年生の100年前の校歌の、斉唱、6年生の未来に向けての発表に感動し、校歌を作った橋本氏の話も取り上げて、赤佐小の伝統を誇らしく思う気持ちが伝わった。根本にあるのは『土に生きる人々のために』という思いだと強く感じた。

### <校長あいさつ>

子供がどう育ったのか、第三者からの評価を大切にしたい。今年は、コーディネーターの2人が学校と地域をつなぐ架け橋となっているが、委員の皆さんが学校を動かす原動力としての役割を担っていただくことをお願いしたい。

### <第2回話し合いの確認（教頭）>

- ・主幹より学校評価の中間報告が説明された。「明るい挨拶」が話題となり、子供と大人の挨拶に対する認識の違いや挨拶がしたくなる環境づくりの大切さという意見が出された。
- ・学校支援コーディネーターから現在の活動報告と今後の取組について説明された。2学期に実施することができた歴史に詳しい方の講話や地域のお店に訪問するための事前活動、家庭科への授業ボランティアを通して今後の見通しが持てた。

### <熟議>

#### (1) 赤佐小学校の特色ある教育活動について

赤佐地区の魅力とは何か、赤佐小学校の学校経営目標を達成するためにできそうなことは何かを、運営協議会の皆さんで考えるために、SWOT分析を実施した。

内部環境の強み（S）弱み（W）外部環境の機会（O）脅威（T）について、2つのグループに分かれ、話し合いをした。

- Aグループ・山内委員・湖東委員・大石委員・内山委員・伊藤CD  
 ○Bグループ・佐藤委員・大城委員・文屋委員・石牧委員・野末CD



《意見の一部》

- 強み (S) ・子供の元気が良い  
 (昼休み外で遊ぶ)  
 ・多様性があり、子供同士で教え合える
- 弱み (W) ・自分を主張するのが苦手  
 ・学力・運動に支援が必要・・・学校だけでなく家庭の支援が必要

- 機会 (O) ・電車沿線で人口が増えている  
 ・歴史的に重要な物がある  
 ・地元のお店が協力的
- 脅威 (T) ・集団だとできるが個人だとできない  
 ・地域の人と接する場が少ない



最後に、伊藤CD・野末CDよりグループの報告があった。

- ・自然が多く子供たちはのびのびと育っている。学校と家庭・地域のつながりも必要で、意識を高めるよう投げかけていきたい。(野末CD)
- ・赤佐の魅力を改めて見つめ直すことで、当事者としてどのように関わるのかを考えることができた。よりよい地域を作るための協力が必要である。(伊藤CD)

## (2) さくらっ子応援団の編成について

学校支援コーディネーターより、さくらっ子応援団の編成について、説明がされた。

家庭科(ミシン)や、実技の授業では支援の必要性を感じた。

来年度からの発足を目指している。

学校では・新1年生の入学から1ヶ月くらいの下校指導

- ・新1年生の給食準備の応援
- ・校外学習の付き添い支援
- ・授業支援の見守り隊

授業以外のどんな活動の支援でも良いので人材の情報が欲しい。

学校支援CDから情報共有のアンケート、さくらっ子応援団の編成の協力要請があった。

## <連絡事項>教頭

○150周年記念行事 12月7日(水)13:00~

○体罰アンケートの回収・開封のお願い 12月8日(木)9日(金)

○学校評価のお願い 12月9日〆切

## 教育総務課から

- ・SWOT分析について地域の皆さんから活発な意見がでた。
- ・意見のでた課題、良さを含めて皆さんの立場で協力をお願いしたい。
- ・学校応援団についても、これから先を見据えて、無理のない範囲でお願いしたい。

## 協働センターから

- ・地域のことを思っている意見が多く出ていた。
- ・協働センターのチラシ(募集)を出しても、親の都合(送迎等)で参加できないことがある。
- ・校外学習・仕事体験・スポーツ指導等、地域で協力してくれる人はいると思うので、支援していきたい。

○次回の運営協議会は令和5年2月22日(水)9時45分から開催する旨の報告があった。